

化学工学会 第43会秋季大会
シンポジウム<材料・界面討論会「塗布技術と表面加工」> 報告書

オーガナイザー

三輪靖（三菱化学科学技術研究センター）

安井豊（住友スリーエム）

安原賢（三菱製紙）

本シンポジウムは展望講演1件、招待講演3件、一般講演20件で構成され、秋季大会2～3日目に開催された。講演は大学12件・企業12件の内訳で、例年に比べて大学の比率が高かった。聴講者は、例年通り塗布技術分科会を中心とした企業の比率が高かった。特に1日目は立ち見者が教室から溢れる程の盛況で、聴講希望者が入場できずに討論の運営に支障を来す状況であった。そこで、大会本部のご配慮により2日目は会場を大教室に移していただいた。

今回、本シンポジウムでは初の試みとして「発表12分+討論8分」という討論重視の時間配分とし、活発な討論を行うことができた。但し、各セッションの座長には従来以上のご負担をいただくことになり、多大なご尽力に改めて感謝申し上げたい。

内容的には、塗布・乾燥に関わる実験・測定・数値解析を広範囲に網羅しており、本学術分野における国内最大規模のシンポジウムとしての役割を果たした。また、化学工学会以外からの招待講演により、異なるアプローチによる現象の理解を深めることに役立ったと思われる。

以上